

3分で理解する「 $0 \div 0$ 不能の理由」(と背理法) June 27, 2012 加藤 厚

前回の「おおよその理由」を「**確かな理由**」に**進歩させる1方法**を補足します。

June 20, 2012 加藤 厚

(インド・アラビア) @算用数字

@漢数字

n進法の仕組みと具体例

1 ③ n の3乗 = $n \times n \times n$
 ② n の2乗 = $n \times n$
 ① n の1乗 = n
 ④ n の0乗 = $n \div n = 1$

※

2

「 n は0を除く」(おおよその理由)は「 $\div 0$ という処理が不能」だから。

「 a 乗の「 $a+1$ 」は「 $\times n$ 」
 「 $a-1$ 」は「 $\div n$ 」!

の n 倍の値

4. **仮に $0 \div 0 = 1$** (つまり $0/0 = 1$) としてみる。

ここで $2/3 = 1/3 + 1/3$ ※ ならば

※分母が同じなら分子は足し引き可能(例: $3/3 - 1/3 = 2/3$)。

すると $1 = 0/0 = 0/0 + 0/0 = \quad ! \rightarrow 1 = \quad , \quad , \quad \dots !$

5. 「**ありえない結論**」を導くならその前提は“ ”

3分で理解する「 $0 \div 0$ 不能の理由」(と背理法) 加藤 厚

1. “ $A \div B$ ”は「 A を B ごとに分けること」。

$6 \div 2$ は ●●●●●● で。

2. B が 0 だと「 0 (無い物)ごとに分ける」こと自体**不能**。
無理やり分けると答は ()なので**無意味**。

3. ただ、 $0 \div 0$ の場合は「**1つある**」ような気もする。

4. 仮に **$0 \div 0 = 1$** (つまり $0/0 = 1$) としてみる。

ここで $2/3 = 1/3 + 1/3$ ※ ならば

※分母が同じなら分子は足し引き可能(例: $3/3 - 1/3 = 2/3$)。

すると $1 = 0/0 = 0/0 + 0/0 = \quad ! \rightarrow 1 = \quad , \quad , \quad \dots !$

5. 「**ありえない結論**」を導くならその**前提は“ ”**

3分で理解する「 $0 \div 0$ 不能の理由」(と背理法) 加藤 厚

1. “ $A \div B$ ”は「 A を B ごとに分けること」。

$6 \div 2$ は ●●●●●● で 。

2. B が 0 だと「 0 (無い物)ごとに分ける」こと自体**不能**。
無理やり分けると答は ()なので**無意味**。

3. ただ、 $0 \div 0$ の場合は「**1つある**」ような気もする。

4. 仮に **$0 \div 0 = 1$** (つまり $0/0 = 1$) としてみる。

ここで $2/3 = 1/3 + 1/3$ ※ ならば

※分母が同じなら分子は足し引き可能(例: $3/3 - 1/3 = 2/3$)。

すると $1 = 0/0 = 0/0 + 0/0 = \quad ! \rightarrow 1 = \quad , \quad , \quad \dots !$

5. 「**ありえない結論**」を導くならその**前提は“ ”**

3分で理解する「 $0 \div 0$ 不能の理由」(と背理法) 加藤 厚

1. “ $A \div B$ ”は「 A を B ごとに分けること」。

$6 \div 2$ は ●● ●● ●●で。

2. B が0だと「 0 (無い物)ごとに分ける」こと自体**不能**。
無理やり分けると答は ()なので**無意味**。

3. ただ、 $0 \div 0$ の場合は「**1つある**」ような気もする。

4. 仮に **$0 \div 0 = 1$** (つまり $0/0 = 1$) としてみる。

ここで $2/3 = 1/3 + 1/3$ ※ ならば

※分母が同じなら分子は足し引き可能(例: $3/3 - 1/3 = 2/3$)。

すると $1 = 0/0 = 0/0 + 0/0 = \quad ! \rightarrow 1 = \quad , \quad , \quad \dots !$

5. 「**ありえない結論**」を導くならその**前提は“ ”**

3分で理解する「 $0 \div 0$ 不能の理由」(と背理法) 加藤 厚

1. “ $A \div B$ ”は「 A を B ごとに分けること」。

$6 \div 2$ は ●● ●● ●● で3。

2. B が0だと「0(無い物)ごとに分ける」こと自体**不能**。
無理やり分けると答は ()なので**無意味**。

3. ただ、 $0 \div 0$ の場合は「**1つある**」ような気もする。

4. 仮に **$0 \div 0 = 1$** (つまり $0/0 = 1$) としてみる。

ここで $2/3 = 1/3 + 1/3$ ※ ならば

※分母が同じなら分子は足し引き可能(例: $3/3 - 1/3 = 2/3$)。

すると $1 = 0/0 = 0/0 + 0/0 = \quad ! \rightarrow 1 = \quad , \quad , \quad \dots !$

5. 「**ありえない結論**」を導くならその**前提は“ ”**

3分で理解する「 $0 \div 0$ 不能の理由」(と背理法) 加藤 厚

1. “ $A \div B$ ”は「 A を B ごとに分けること」。

6には2が3
つ含まれる。

$6 \div 2$ は ●● ●● ●● で3。

2. B が0だと「0(無い物)ごとに分ける」こと自体**不能**。
無理やり分けると答は ()なので**無意味**。

3. ただ、 $0 \div 0$ の場合は「**1つある**」ような気もする。

4. **仮に** $0 \div 0 = 1$ (つまり $0/0 = 1$) としてみる。

ここで $2/3 = 1/3 + 1/3$ ※ ならば

※分母が同じなら分子は足し引き可能(例: $3/3 - 1/3 = 2/3$)。

すると $1 = 0/0 = 0/0 + 0/0 = \quad ! \rightarrow 1 = \quad , \quad , \quad \dots !$

5. 「**ありえない結論**」を導くならその**前提は“ ”**

3分で理解する「 $0 \div 0$ 不能の理由」(と背理法) 加藤 厚

1. “ $A \div B$ ”は「 A を B ごとに分けること」。

6には2が3
つ含まれる。

$6 \div 2$ は ●● ●● ●● で3。

2. B が0だと「0(無い物)ごとに分ける」こと自体不能。
無理やり分けると答は ∞ (無限大)なので無意味。

3. ただ、 $0 \div 0$ の場合は「1つある」ような気もする。

4. 仮に $0 \div 0 = 1$ (つまり $0/0 = 1$) としてみる。

ここで $2/3 = 1/3 + 1/3$ ※ ならば

※分母が同じなら分子は足し引き可能(例: $3/3 - 1/3 = 2/3$)。

すると $1 = 0/0 = 0/0 + 0/0 = \quad ! \rightarrow 1 = \quad , \quad , \quad \dots !$

5. 「ありえない結論」を導くならその前提は“ ”。

3分で理解する「 $0 \div 0$ 不能の理由」(と背理法) 加藤 厚

1. “ $A \div B$ ”は「 A を B ごとに分けること」。

6には2が3
つ含まれる。

$6 \div 2$ は ●● ●● ●● で3。

2. B が0だと「0(無い物)ごとに分ける」こと自体**不能**。

無理やり分けると答は ∞ (無限大)なので**無意味**。

3. ただ、 $0 \div 0$ の場合は「**1つある**」ような気も

言語や
イメージ
の限界

4. **仮に** $0 \div 0 = 1$ (つまり $0/0 = 1$) としてみる。

ここで $2/3 = 1/3 + 1/3$ ※ ならば

※分母が同じなら分子は足し引き可能(例: $3/3 - 1/3 = 2/3$)。

すると $1 = 0/0 = 0/0 + 0/0 = \quad ! \rightarrow 1 = \quad , \quad , \quad \dots !$

5. 「**ありえない結論**」を導くならその**前提は“ ”**

3分で理解する「0÷0不能の理由」(と背理法) 加藤厚

1. “A÷B”は「AをBごとに分けること」。

6には2が3
つ含まれる。

6÷2は●● ●● ●●で3。

2. Bが0だと「0(無い物)ごとに分ける」こと自体**不能**。

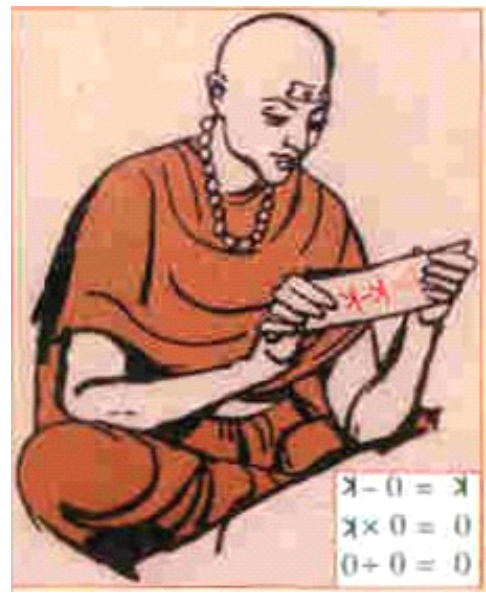
無理やり分けると答は∞(無限大)なので**無意味**。

3. ただ、0÷0の場合は「**1つある**」ような気もする。

言語や
イメージ
の限界

4. **仮に0÷0=0**
ここで2
※分母が同じ
すると1

0(ゼロ)を初めて
数字として扱った
ブラハマグプタ (Brahmagupta
598-665: インドの天文学
者・数学者)も(実は)
0÷0=0として
いました。;-)



みる。
= 2/3)。

, , . . !
よ“ ”
9

5. 「ありえ

3分で理解する「 $0 \div 0$ 不能の理由」(と背理法) 加藤 厚

1. “ $A \div B$ ”は「 A を B ごとに分けること」。

6には2が3
つ含まれる。

$6 \div 2$ は ●● ●● ●● で3。

2. B が0だと「0(無い物)ごとに分ける」こと自体**不能**。

無理やり分けると答は ∞ (無限大)なので**無意味**。

3. ただ、 $0 \div 0$ の場合は「**1つある**」ような気も

言語や
イメージ
の限界

4. **仮に** $0 \div 0 = 1$ (つまり $0/0 = 1$) としてみる。

ここで $2/3 = 1/3 + 1/3$ ※ ならば

※分母が同じなら分子は足し引き可能(例: $3/3 - 1/3 = 2/3$)。

すると $1 = 0/0 = 0/0 + 0/0 = \quad ! \rightarrow 1 = \quad , \quad , \quad \dots !$

5. 「**ありえない結論**」を導くならその**前提は“ ”**

3分で理解する「 $0 \div 0$ 不能の理由」(と背理法) 加藤 厚

1. “ $A \div B$ ”は「 A を B ごとに分けること」。

6には2が3
つ含まれる。

$6 \div 2$ は ●● ●● ●● で3。

2. B が0だと「0(無い物)ごとに分ける」こと自体**不能**。

無理やり分けると答は ∞ (無限大)なので**無意味**。

3. ただ、 $0 \div 0$ の場合は「**1つある**」ような気も

言語や
イメージ
の限界

4. **仮に** $0 \div 0 = 1$ (つまり $0/0 = 1$) としてみる。

ここで $2/3 = 1/3 + 1/3$ ※ ならば $0/0 = \quad /0 + \quad /0$

※分母が同じなら分子は足し引き可能(例: $3/3 - 1/3 = 2/3$)。

すると $1 = 0/0 = 0/0 + 0/0 = \quad ! \rightarrow 1 = \quad , \quad , \quad \dots !$

5. 「**ありえない結論**」を導くならその**前提は“ ”**

3分で理解する「 $0 \div 0$ 不能の理由」(と背理法) 加藤 厚

1. “ $A \div B$ ”は「 A を B ごとに分けること」。

6には2が3
つ含まれる。

$6 \div 2$ は ●● ●● ●● で3。

2. B が0だと「0(無い物)ごとに分ける」こと自体**不能**。

無理やり分けると答は ∞ (無限大)なので**無意味**。

3. ただ、 $0 \div 0$ の場合は「**1つある**」ような気も

言語や
イメージ
の限界

4. **仮に** $0 \div 0 = 1$ (つまり $0/0 = 1$) としてみる。

ここで $2/3 = 1/3 + 1/3$ ※ ならば $0/0 = 0/0 + 0/0$

※分母が同じなら分子は足し引き可能(例: $3/3 - 1/3 = 2/3$)。

すると $1 = 0/0 = 0/0 + 0/0 = \quad ! \rightarrow 1 = \quad , \quad , \quad \dots !$

5. 「**ありえない結論**」を導くならその**前提は“ ”**

3分で理解する「 $0 \div 0$ 不能の理由」(と背理法) 加藤厚

1. “ $A \div B$ ”は「 A を B ごとに分けること」。

6には2が3
つ含まれる。

$6 \div 2$ は ●● ●● ●● で3。

2. B が0だと「0(無い物)ごとに分ける」こと自体**不能**。

無理やり分けると答は ∞ (無限大)なので**無意味**。

3. ただ、 $0 \div 0$ の場合は「**1つある**」ような気も

言語や
イメージ
の限界

4. **仮に** $0 \div 0 = 1$ (つまり $0/0 = 1$) としてみる。

ここで $2/3 = 1/3 + 1/3$ ※ ならば $0/0 = 0/0 + 0/0$

※分母が同じなら分子は足し引き可能(例: $3/3 - 1/3 = 2/3$)。

すると $1 = 0/0 = 0/0 + 0/0 = \quad ! \rightarrow 1 = \quad , \quad , \quad \dots !$

5. 「**ありえない結論**」を導くならその**前提は“ ”**

3分で理解する「 $0 \div 0$ 不能の理由」(と背理法) 加藤 厚

1. “ $A \div B$ ”は「 A を B ごとに分けること」。

6には2が3
つ含まれる。

$6 \div 2$ は ●● ●● ●● で3。

2. B が0だと「0(無い物)ごとに分ける」こと自体**不能**。

無理やり分けると答は ∞ (無限大)なので**無意味**。

3. ただ、 $0 \div 0$ の場合は「**1つある**」ような気も

言語や
イメージ
の限界

4. **仮に** $0 \div 0 = 1$ (つまり $0/0 = 1$) としてみる。

ここで $2/3 = 1/3 + 1/3$ ※ ならば $0/0 = 0/0 + 0/0$

※分母が同じなら分子は足し引き可能(例: $3/3 - 1/3 = 2/3$)。

すると $1 = 0/0 = 0/0 + 0/0 = 2! \rightarrow 1 = , , \dots !$

5. 「**ありえない結論**」を導くならその前提は“ ”

3分で理解する「 $0 \div 0$ 不能の理由」(と背理法) 加藤 厚

1. “ $A \div B$ ”は「 A を B ごとに分けること」。

6には2が3
つ含まれる。

$6 \div 2$ は ●● ●● ●● で3。

2. B が0だと「0(無い物)ごとに分ける」こと自体**不能**。

無理やり分けると答は ∞ (無限大)なので**無意味**。

3. ただ、 $0 \div 0$ の場合は「**1つある**」ような気も

言語や
イメージ
の限界

4. **仮に** $0 \div 0 = 1$ (つまり $0/0 = 1$) としてみる。

ここで $2/3 = 1/3 + 1/3$ ※ ならば $0/0 = 0/0 + 0/0$

※分母が同じなら分子は足し引き可能(例: $3/3 - 1/3 = 2/3$)。

すると $1 = 0/0 = 0/0 + 0/0 = 2 ! \rightarrow 1=3, , \dots !$

5. 「**ありえない結論**」を導くならその前提は“ ”

3分で理解する「 $0 \div 0$ 不能の理由」(と背理法) 加藤 厚

1. “ $A \div B$ ”は「 A を B ごとに分けること」。

6には2が3
つ含まれる。

$6 \div 2$ は ●● ●● ●● で3。

2. B が0だと「0(無い物)ごとに分ける」こと自体**不能**。

無理やり分けると答は ∞ (無限大)なので**無意味**。

3. ただ、 $0 \div 0$ の場合は「**1つある**」ような気も

言語や
イメージ
の限界

4. **仮に** $0 \div 0 = 1$ (つまり $0/0 = 1$) としてみる。

ここで $2/3 = 1/3 + 1/3$ ※ ならば $0/0 = 0/0 + 0/0$

※分母が同じなら分子は足し引き可能(例: $3/3 - 1/3 = 2/3$)。

すると $1 = 0/0 = 0/0 + 0/0 = 2 ! \rightarrow 1=3, 4, \dots !$

5. 「**ありえない結論**」を導くならその前提は“ ”

3分で理解する「 $0 \div 0$ 不能の理由」(と背理法) 加藤 厚

1. “ $A \div B$ ”は「 A を B ごとに分けること」。

6には2が3
つ含まれる。

$6 \div 2$ は ●● ●● ●● で3。

2. B が0だと「0(無い物)ごとに分ける」こと自体**不能**。

無理やり分けると答は ∞ (無限大)なので**無意味**。

3. ただ、 $0 \div 0$ の場合は「**1つある**」ような気も

言語や
イメージ
の限界

4. **仮に** $0 \div 0 = 1$ (つまり $0/0 = 1$) としてみる。

ここで $2/3 = 1/3 + 1/3$ ※ ならば $0/0 = 0/0 + 0/0$

※分母が同じなら分子は足し引き可能(例: $3/3 - 1/3 = 2/3$)。

すると $1 = 0/0 = 0/0 + 0/0 = 2 ! \rightarrow 1=3, 4, 5 \dots !$

5. 「**ありえない結論**」を導くならその前提は“ ”

3分で理解する「 $0 \div 0$ 不能の理由」(と背理法) 加藤 厚

1. “ $A \div B$ ”は「 A を B ごとに分けること」。

6には2が3
つ含まれる。

$6 \div 2$ は ●● ●● ●● で3。

2. B が0だと「0(無い物)ごとに分ける」こと自体**不能**。
無理やり分けると答は ∞ (無限大)なので**無意味**。

3. ただ、 $0 \div 0$ の場合は「**1つある**」ような気も

言語や
イメージ
の限界

4. 仮に **$0 \div 0 = 1$** (つまり $0/0 = 1$) としてみる

ここで $2/3 = 1/3 + 1/3$ ※ ならば $0/0 = 0/0 + 0/0$
※分母が同じなら分子は足し引き可能(例: $3/3 = 2/3 + 1/3$)。

数字が
意味を持
たない!

すると $1 = 0/0 = 0/0 + 0/0 = 2! \rightarrow 1=3, 4, 5 \dots!$

5. 「**ありえない結論**」を導くならその前提は“ ”

3分で理解する「 $0 \div 0$ 不能の理由」(と背理法) 加藤 厚

1. “ $A \div B$ ”は「 A を B ごとに分けること」。

6には2が3
つ含まれる。

$6 \div 2$ は ●● ●● ●● で3。

2. B が0だと「0(無い物)ごとに分ける」こと自体**不能**。
無理やり分けると答は ∞ (無限大)なので**無意味**。

3. ただ、 $0 \div 0$ の場合は「**1つある**」ような気も

言語や
イメージ
の限界

4. 仮に **$0 \div 0 = 1$** (つまり $0/0 = 1$) としてみよう

ここで $2/3 = 1/3 + 1/3$ ※ ならば $0/0 = 0/0 + 0/0$
※分母が同じなら分子は足し引き可能(例: $3/3 = 2/3 + 1/3$)。

数字が
意味を持
たない!

すると $1 = 0/0 = 0/0 + 0/0 = 2! \rightarrow 1=3, 4, 5 \dots!$

5. 「**ありえない結論**」を導くならその前提は“**誤り**”

3分で理解する「0÷0不能の理由」(帰謬法) 加藤厚

①「主張の _____」を仮定する。

② _____

③ _____

この論理展開= _____ (帰謬法)

は医/薬/農/生物/心理/社会学

などで「 _____」用に広く使われています。皆さん

の「考え方のレパートリー」にも追加しておきましょう。

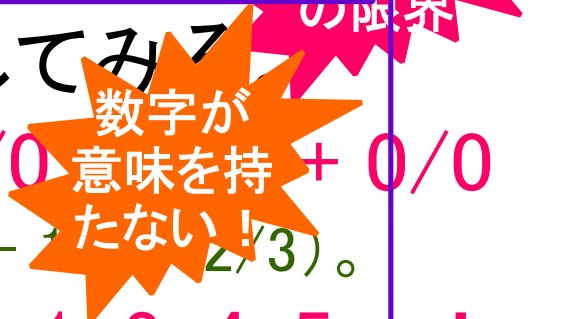
4. 仮に $0 \div 0 = 1$ (つまり $0/0 = 1$) としてみる

ここで $2/3 = 1/3 + 1/3$ ※ ならば $0/0 = 0/0 + 0/0$

※分母が同じなら分子は足し引き可能(例: $3/3 = 2/3 + 1/3$)。

すると $1 = 0/0 = 0/0 + 0/0 = 2!$ → $1=3, 4, 5 \dots!$

5. 「ありえない結論」を導くならその前提は“誤り”



3分で理解する「0÷0不能の理由」(帰謬法) 加藤厚

①「主張の**否定**」を仮定する。

②

③

この論理展開= (帰謬法)

は医/薬/農/生物/心理/社会学

などで「**帰謬法**」用に広く使われています。皆さん

の「考え方のレパートリー」にも追加しておきましょう。

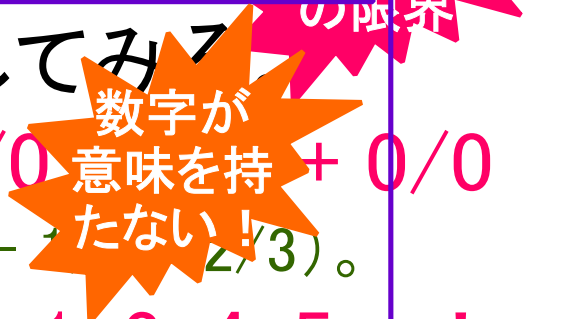
4. **仮に $0 \div 0 = 1$** (つまり $0/0 = 1$) としてみよう

ここで $2/3 = 1/3 + 1/3$ ※ ならば $0/0 = 0/0 + 0/0$

※分母が同じなら分子は足し引き可能(例: $3/3 = 2/3 + 1/3$)。

すると $1 = 0/0 = 0/0 + 0/0 = 2!$ → $1=3, 4, 5 \dots!$

5. 「**ありえない結論**」を導くならその前提は“誤り”



3分で理解する「0÷0不能の理由」(トモイロ法) 加藤厚

- ①「主張の**否定**」を仮定する。
- ②仮定が導く“ ”を示す。
- ③

この論理展開= (帰謬法)

は医/薬/農/生物/心理/社会学

などで「 」用に広く使われています。皆さん

の「考え方のレポーター」にも追加しておきましょう。

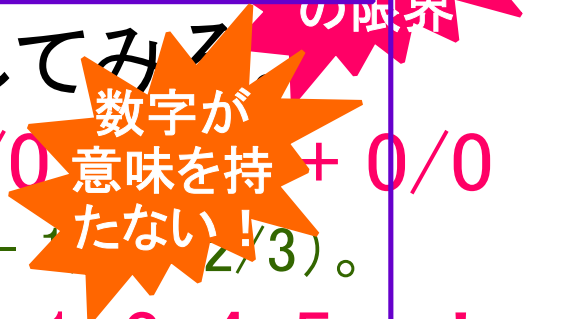
4. 仮に $0 \div 0 = 1$ (つまり $0/0 = 1$) としてみよう

ここで $2/3 = 1/3 + 1/3$ ※ ならば $0/0 = 0/0 + 0/0$

※分母が同じなら分子は足し引き可能(例: $3/3 = 2/3 + 1/3$)。

すると $1 = 0/0 = 0/0 + 0/0 = 2!$ → $1=3, 4, 5 \dots!$

5. 「ありえない結論」を導くならその前提は“誤り”



3分で理解する「0÷0不能の理由」(帰謬法) 加藤厚

- ①「主張の**否定**」を仮定する。
- ②仮定が導く“**矛盾**”を示す。
- ③

この論理展開= (帰謬法)

は医/薬/農/生物/心理/社会学

などで「**帰謬法**」用に広く使われています。皆さん

の「考え方のレパートリー」にも追加しておきましょう。

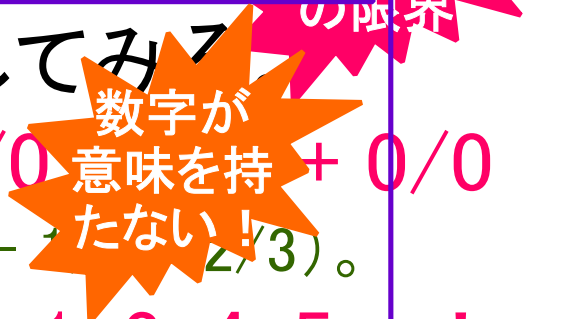
4. **仮に** $0 \div 0 = 1$ (つまり $0/0 = 1$) としてみる

ここで $2/3 = 1/3 + 1/3$ ※ ならば $0/0 = 0/0 + 0/0$

※分母が同じなら分子は足し引き可能(例: $3/3 = 2/3 + 1/3$)。

すると $1 = 0/0 = 0/0 + 0/0 = 2!$ → $1=3, 4, 5 \dots!$

5. 「**ありえない結論**」を導くならその前提は“**誤り**”



3分で理解する「0÷0不能の理由」(帰謬法)

- ①「主張の**否定**」を仮定する。
- ②仮定が導く“**矛盾**”を示す。
- ③矛盾の原因は否定→従って「」と判断する。

この論理展開= (帰謬法)

は医/薬/農/生物/心理/社会学

などで「」用に広く使われています。皆さん

の「考え方のレパートリー」にも追加しておきましょう。

4. 仮に**0 ÷ 0 = 1** (つまり $0/0 = 1$) としてみる

ここで $2/3 = 1/3 + 1/3$ ※ ならば $0/0 = 0/0 + 0/0$

数字が意味を持たない!

※分母が同じなら分子は足し引き可能(例: $3/3 - 2/3 = 1/3$)。

すると $1 = 0/0 = 0/0 + 0/0 = 2$! → $1=3, 4, 5 \dots$!

5. 「**ありえない結論**」を導くならその前提は“**誤り**”

3分で理解する「0÷0不能の理由」(帰謬法) 加藤厚

- ①「主張の**否定**」を仮定する。
- ②仮定が導く“**矛盾**”を示す。
- ③矛盾の原因は否定→従って「**主張が正**」と判断する。

この論理展開= (帰謬法)
 は医/薬/農/生物/心理/社会学

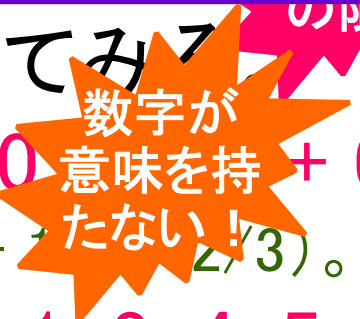
などで「**帰謬法**」用に広く使われています。皆さんの「考え方レポーター」にも追加しておきましょう。

4. **仮に $0 \div 0 = 1$** (つまり $0/0 = 1$) としてみよう

ここで $2/3 = 1/3 + 1/3$ ※ ならば $0/0 = 0/0 + 0/0$

※分母が同じなら分子は足し引き可能(例: $3/3 = 2/3 + 1/3$)。

すると $1 = 0/0 = 0/0 + 0/0 = 2!$ → $1=3, 4, 5 \dots!$



5. 「**ありえない結論**」を導くならその**前提は“誤り”**

3分で理解する「0÷0不能の理由」(帰謬法) 加藤厚

- ①「主張の**否定**」を仮定する。
- ②仮定が導く“**矛盾**”を示す。
- ③矛盾の原因は否定→従って「**主張が正**」と判断する。

この論理展開=**背理法**(帰謬法)
は医/薬/農/生物/心理/社会学
などで「**帰謬法**」用に広く使われています。皆さん

の「考え方のレポーター」にも追加しておきましょう。

4. **仮に** $0 \div 0 = 1$ (つまり $0/0 = 1$) としてみる
- ここで $2/3 = 1/3 + 1/3$ ※ ならば $0/0 = 0/0 + 0/0$
- ※分母が同じなら分子は足し引き可能(例: $3/3 = 2/3 + 1/3$)。
- すると $1 = 0/0 = 0/0 + 0/0 = 2!$ → $1=3, 4, 5 \dots!$

5. 「**ありえない結論**」を導くならその**前提は“誤り”**

3分で理解する「0÷0不能の理由」(レパトリー)

- ①「主張の**否定**」を仮定する。
- ②仮定が導く“**矛盾**”を示す。
- ③矛盾の原因は否定→従って「**主張が正**」と判断する。

この論理展開=**背理法**(帰謬法)は医/薬/農/生物/心理/社会学などで「**レパトリー**」用に広く使われています。

皆さんの「考え方のレパトリー」にも追加しておきましょう。

[広辞苑 第六版 DVD-ROM版 - 動画]

はいり-ほう【背理法】 …ハフ

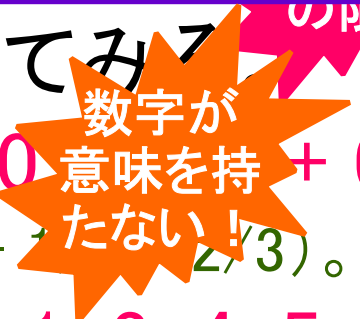
〔論〕(reductio ad absurdum ラテン)ある命題の否定を真とすれば、そこから不条理な結論が出ることを明らかにして、原命題が真であることを証明する仕方。間接証明。間接還元法。帰謬さびゅう法。

4. **仮に $0 \div 0 = 1$** (つまり $0/0 = 1$) としてみる

ここで $2/3 = 1/3 + 1/3$ ※ ならば $0/0 = 0/0 + 0/0$

※分母が同じなら分子は足し引き可能(例: $3/3 = 2/3 + 1/3$)。

すると $1 = 0/0 = 0/0 + 0/0 = 2!$ → $1=3, 4, 5 \dots!$



5. 「**ありえない結論**」を導くならその**前提は“誤り”**

3分で理解する「0÷0不能の理由」(レバ理法)

加藤 厚

- ①「主張の**否定**」を仮定する。
- ②仮定が導く“**矛盾**”を示す。
- ③矛盾の原因は否定→従って「**主張が正**」と判断する。

この論理展開=**背理法**(帰謬法)
 は医/薬/農/生物/心理/社会学

などで「**仮説検定**」用に広く使われています。皆さんの「**考え方のレポーター**」にも追加しておきましょう。

[広辞苑 第六版 DVD-ROM版 - 動画]

はいり-ほう【背理法】 …ハフ

〔論〕(reductio ad absurdum ラテン)ある命題の否定を真とすれば、そこから不条理な結論が出ることを明らかにして、原命題が真であることを証明する仕方。間接証明。間接還元法。帰謬さびゅう法。

3
5。

能。

や
ジ
の限界

4. **仮に $0 \div 0 = 1$** (つまり $0/0 = 1$) としてみる

ここで $2/3 = 1/3 + 1/3$ ※ ならば $0/0 = 0/0 + 0/0$

数字が意味を持たない!

※分母が同じなら分子は足し引き可能(例: $3/3 = 2/3 + 1/3$)。

すると $1 = 0/0 = 0/0 + 0/0 = 2 ! \rightarrow 1=3, 4, 5 \dots !$

5. 「**ありえない結論**」を導くならその**前提は“誤り”**

3分で理解する「〇〇の不能の理由」(レバ理法)

加藤 厚

- ①「主張の**否定**」を仮定する。
- ②仮定が導く“**矛盾**”を示す。
- ③矛盾の原因は否定→従って「**主張が正**」と判断する。

この論理展開=**背理法**(帰謬法)

は医/薬/農/生物/心理/社会学などで「**仮説検定**」用に広く使われています。皆さんの「**考え方のレポーター**」にも追加しておきましょう。

[広辞苑 第六版 DVD-ROM版 - 動画]

はいり-ほう【背理法】 …ハフ

〔論〕(reductio ad absurdum ラテン)ある命題の否定を真とすれば、そこから不条理な結論が出ることを明らかにして、原命題が真であることを証明する仕方。間接証明。間接還元法。帰謬さびゅう法。

3
5。

能。

や
ジ
の限界

4. **例**えは「タイムマシンは作れません。作れるなら、なぜ
 なのでしょう?」「輪廻転生は(全ての人
 では)ありえません。もし全ての人が“誰かの生まれ変わ
 り”なら
 なのでしょう?」…

5. 「**ありえない結論**」を導くならその**前提は“誤り”**

3分で理解する「〇〇の不能の理由」(レバ理法)

加藤 厚

- ①「主張の**否定**」を仮定する。
- ②仮定が導く“**矛盾**”を示す。
- ③矛盾の原因は否定→従って「**主張が正**」と判断する。

この論理展開=**背理法**(帰謬法)

は医/薬/農/生物/心理/社会学などで「**仮説検定**」用に広く使われています。皆さんの「**考え方のレポーター**」にも追加しておきましょう。

[広辞苑 第六版 DVD-ROM版 - 動画]

はいり-ほう【背理法】 …ハフ

〔論〕(reductio ad absurdum ラテン)ある命題の否定を真とすれば、そこから不条理な結論が出ることを明らかにして、原命題が真であることを証明する仕方。間接証明。間接還元法。帰謬さびゅう法。

3
5。

能。

や
ジ
の限界

4

例えば「タイムマシンは作れません。作れるなら、なぜ**誰も未来から来ない**のでしょうか?」「輪廻転生は(全ての人では)ありえません。もし全ての人が“誰かの生まれ変わり”なら
の
のでしょうか?」…

5.「**ありえない結論**」を導くならその**前提は“誤り”**

3分で理解する「〇〇の不能の理由」(レバ理法)

加藤 厚

- ①「主張の**否定**」を仮定する。
- ②仮定が導く“**矛盾**”を示す。
- ③矛盾の原因は否定→従って「**主張が正**」と判断する。

この論理展開=**背理法**(帰謬法)

は医/薬/農/生物/心理/社会学などで「**仮説検定**」用に広く使われています。皆さんの「**考え方のレポーター**」にも追加しておきましょう。

[広辞苑 第六版 DVD-ROM版 - 動画]

はいり-ほう【背理法】 …ハフ

〔論〕(reductio ad absurdum ラテン)ある命題の否定を真とすれば、そこから不条理な結論が出ることを明らかにして、原命題が真であることを証明する仕方。間接証明。間接還元法。帰謬さびゅう法。

3
5。

能。

や
ジ
の限界

4. 例え「タイムマシンは作れません。作れるなら、なぜ**誰も未来から来ない**のでしょうか?」「輪廻転生は(全ての人では)ありえません。もし全ての人が“誰かの生まれ変わり”なら**人類の総人口はなぜ増加する**のでしょうか?」…

5. 「**ありえない結論**」を導くならその**前提は“誤り”**